

清流

西栗倉中学校だより
令和5年2月27日(月)発行

4 質の高い教育を
みんなに



2月の生徒会 SDGs

「8:15～8:25は必ず教室の椅子に座って
読書をする」

校長雑感

～言葉の力～

私を含め、皆さんもこれまでに偉人やスポーツ選手等の名言や格言を始め、色々な人からその人の生き様や成し遂げた偉業等に裏打ちされた言葉等に、元気や勇気をもらったり励まされたりした経験があるのではないのでしょうか。私に関しては、迷ったり停滞したりしたときに、55歳にしてまだ現役の選手として活躍されている、サッカーの三浦知良さんの『1センチでもいいから前に出る』という言葉に背中を押してもらった経験があります。加えて、何気ない日常を過ごしている時でも、ふとした言葉が自身の現状を振り返るきっかけになったり、この先を見通すヒントになったりすることがあると思います。

というのも、最近私は次のような言葉に出会ったのです。

人は信頼された分だけ育ち、大事にされた分だけ成功し、認められた分だけ成長するものだ

私にとって、とても納得し、腑に落ちる言葉です。人は他から信頼されないと動けません。信頼されると挑戦できる、挑戦しようとする粋や気持ちが大きくなるはずです。そして大事にされる、すなわちしっかりサポートされる、応援されることで成功を収めることが多くなり、それを認められることが喜びや励みとなり、更なる成長へと繋がるのだと思うからです。その一方で、私は本当に他を、生徒を心から信頼できているのだろうか、大事にしている、ちゃんとサポートできているのだろうか、きちんと認めてやっているのだろうか、と、自問自答させられ、そうしきれて

いないことの多さに改めて気づかされました。今後どれだけできるか、続けられるかは自信がありませんが、心がけなければと感じています。

この言葉には更に続きがあります。

**自分が選んだ環境と考え方によって、
全く異なる結果を生み出すことができる**

先の言葉を“他に対しての心がけ”とすればこの言葉は、“自分自身に対する戒め”と私は捉えました。自分がどのような環境を選択するかということは、それによって生み出す結果に違いが当然生じるため、非常に大事なことだと思います。自分で選んだことで、前向きに、そして多少のことにも踏ん張りが効くのだと思います。しかしながら、世の中自分で選ぶことのできる環境ばかりではありません。与えられた環境の方が多いものです。そんな場合、言葉の中にある“考え方”が大事だと思います。不平や不満、愚痴ばかり言っても何も変わりません。やっぱり、置かれた環境を前向き、かつポジティブに捉え、“感謝”することで道は拓けると思います。たとえ挫折したとしても、それらは次の肥やしになるはずです。今現在自身が置かれている環境の中で、今年のモットーである、“明るく・楽しく・元気よく”にて“全く異なる結果”、自分や周りにとって“良い結果”を生み出したいもの、生み出して欲しいものです。

そのためにも、思いを込めた、思いの伝わる言葉がけをし続けようと思います。“言葉の力”を信じて。



入学説明会

2月6日(月)に授業見学と入学説明会を実施しました。先生方の話を聞いたり、先輩たちの姿をみたりして、中学生になる心構えができたことと思います。



生徒会本部による説明

4月10日が入学式です。新入生とともに全校で学習や行事、部活動に力一杯に取り組みましょう!



中学校の学習や生活についてのお話

誓いの言葉

私たちは本日、この立志式にあたり、五つのことを誓います。

- 一、思いやりの心を持って、誰にでも優しく接することができる人になります。
- 一、自分のことは自分ででき、周りから頼りにされる人になります。
- 一、努力することができ、自分の言動に責任を持てる人になります。
- 一、感謝の気持ちを持って、礼儀正しくできる人になります。
- 一、自分の夢に向かって挑戦でき、積極的に行動できる人になります。

令和5年2月17日

西栗倉中学校2年生一同

立志式

2月17日(木)に立志式を挙行していただきました。2年生6名は将来の夢や希望の実現に向けて、今をどう過ごすのか、どんな人になることを目指すのかという決意を表明しました。

村をあげて祝福していただき感謝申し上げます。

